

I—太陽と月 (天空の明暗)

日付	日出 (星座)	日没	日付	夜半の月齢	月出 (星座)	月没
日	時分	時分	日	日	時分	時分
1	4:44 (うし)	7:5	1	29.1	4:10 (をうし)	19:15
6	4:43	7:8	2	0.7	5:2	20:12
11	4:42	7:11	3	1.7	6:0 (ふたご)	21:8
16	4:42	7:13	4	2.7	7:1	21:41
21	4:43 (ふたご)	7:14	5	3.7	8:1 (かに)	22:20
26	4:44	7:15	6	4.7	9:0	22:51
翌1	4:46	7:15	7	5.7	9:57 (し)	23:19
			8	6.7	10:54	23:44
			9	7.7	11:49	—
			10	8.7	12:44 (をとめ)	0:10
			11	9.7	13:41	0:35
			12	10.7	14:40	1:1
			13	11.7	15:43	1:32
			14	12.7	16:49 (てんびん)	2:7
			15	13.7	17:51 (さそり)	2:48
			16	14.7	18:52	3:38
			17	15.7	19:49 (へびつかひ)	4:40
			18	16.7	20:39 (いて)	5:54
			19	17.7	21:24	6:52
			20	18.7	22:0 (やぎ)	8:4
			21	19.7	22:33 (みづかめ)	9:14
			22	20.7	23:3	10:23
			23	21.7	23:36 (うを)	11:30
			24	22.7	—	12:39
			25	23.7	0:9	13:46
			26	24.7	0:44 (ひつじ)	14:53
			27	25.7	1:23	16:0
			28	26.7	2:5 (をうし)	17:4
			29	27.7	2:54	18:3
			30	28.7	3:49	18:54

II—天象

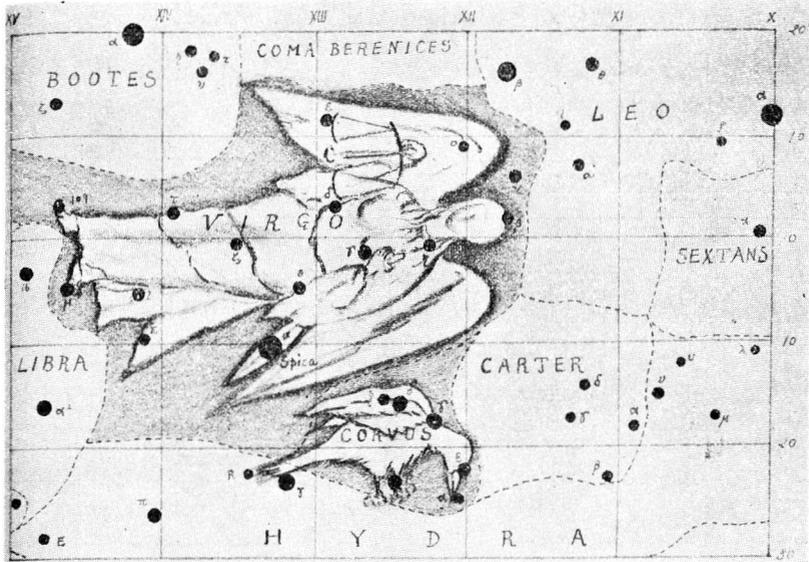
日	時分	天象
1, 16	—	土星の西矩
3, 10	39	水(南55')と月と合
3, 17	—	海王星の東矩
5, 10	39	金(北2°55')と月と合
7, 2	—	水星が降交點
9, 7	41	海(北5°26')と月と合
9, 11	—	水星が停留
11, 15	13	火(北5°40')と月と合
14, 9	13	木(北6°12')と月と合
15, 2	—	火星が降交點
17, 9	—	水星が遠日點
22, 3	—	水星が内合
22, 16	0	土(南6°14')と月と合
22, 17	38	夏至
22, 23	—	土星が停留
26, 12	32	天(南5°56')と月と合
30, 5	44	水(南6°59')と月と合
30, —	—	部分日食
30, 20	—	金星の最大離角(東45°26')

新月 6月1日16時52分
 上弦 6月9日14時49分

満月 6月17日 5時20分
 下弦 6月23日 23時21分

主な流星群

日付	赤緯	赤緯	附近の星	性質
下旬	24°	+43°	アンドロメダ	速痕
月末	213	+53	大熊座	緩



—— 六月の宵空 ——

『もし「たんぽぽ」が生存のために闘争する必要なく、そしてその發育に際しては、周囲の環境のうちに發生する種々の抵抗を克服する必要がないとすれば、そのたんぽぽは十代のうちには緻密な毛氈をもつて全地球を蔽ふであらう』。

慈愛の乙女デメートルがおつ魂消けて飛び立つその足元からどうやら唯物論の國際列車が発車する。

「さりととは御存知のない三太殿だつた。

乙女の美しい裸身をコツと彫つて御座る。

とり残された三太殿には、それがそれ永久に萎まぬ藝術の華とか。

なま温いお湯の様な平穩の中にデメートルが再現される。

或朝隣家の辯護士で相場にもチョイチョイ手を出す外科醫殿のすゝめで、よせばイイのに都會へもち出したところ……いきなり鯛焼屋が叩き碎してしまふんだもの。

その上喰つてかゝつた三太殿は皆に手どり足どり檻の中。

それでも比較解剖學者と香具師が中には入つて、……何う話がすゝんだのか、或毛皮を着た未亡人にかはれて行つた三太殿である。』